

図書館報 ぷらっつ★篠崎

057号

P2～P3 特集

「ファミリー家族の本」

P1 江戸川まいにんぐ
「ひらい圓藏亭」

P4 そのメロディに魅せられて♪
「美しく青きドナウ～ウィーン・フィル・
シュトラウス・コンサート」

P4 スタッフのセレクション！
「スタンド・バイ・ミー」

江戸川まいにんぐ 発掘第57回 「ひらい圓藏亭」

江戸川区内のイベントやスポットを、スタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。



ひらい圓藏亭の外観。師匠が晩年を過ごしたご自宅。



師匠とツーショット写真。まるでご本人が隣にいるようです。



館内には師匠のゆかりの品物が展示されています。

「ひらいの師匠」と呼ばれた落語家の八代目橘家圓藏師匠が晩年を過ごしたご自宅が昨年7月より一般公開されています。平井公園の北側に位置し、公園内には師匠の家紋であるタチバナの木が植樹されています。

圓藏亭の中に入ると、まずは師匠の特大大写真が笑顔でお出迎え。一階では師匠の落語の映像や江戸川落語会などの音源を楽しんだり、落語の書籍などを閲覧することができます。イベントスペースがあり、様々な楽しい催し（下記参照）も行われています。催しがない時は高座に座って師匠のパネルと一緒に記念撮影ができ、ご

本人が隣にいるような写真が撮れます。

二階では、師匠の着物や眼鏡などのゆかりの品やCM映像などを見ることができ、懐かしく当時の思い出されます。テレビ、ラジオにひっぱりだこでしたね。師匠の生立ちや江戸川区への貢献も紹介されています。赤貧だったことに驚かされ、師匠や周りの人々の人情に心打れました。

おもしろい落語を追求した圓藏師匠が遺したものや落語文化に触れに訪れてみてはいかがでしょうか。

ひらい圓藏亭のご案内

所在地： 江戸川区平井3丁目21番24号
開館日： 毎週木曜日から日曜日 年末年始を除く
開館時間： 午前10時から午後4時
入場料： 無料
※圓藏師匠のご自宅をそのまま公開しているため、玄関などに一部段差があります。

ひらい圓藏亭定期イベント情報

「圓藏亭昔語り」	偶数月第1土曜	午後2時から
「圓藏亭落語会」	毎月第2・4日曜	午後1時30分から
「スクリーンでみる落語名演」	毎月第2木曜	午後1時から
「はっぴい かみしばい」（対象年齢3歳～）	毎月第3土曜	午後1時30分から
「子どもむけおはなし会」（対象年齢3歳～）	毎月第4金曜	午後3時30分から

参考資料

『八代目橘家圓藏の泣き笑い人情噺』 小久保 晴行著 イースト・プレス V779.1タ 中央ほか所蔵
『＜DVD＞えどがわ区民ニュース2018年2月号』 江戸川区 U01866 篠崎ほか所蔵
『江戸川区ホームページ「ひらい圓藏亭」』 <https://www.city.edogawa.tokyo.jp/chiikijoho/bunka/hirai_enzotei.html>

ライフラインマ篠崎

『じゃじゃ馬ならし』（1967年、アメリカ）

4月8日（土）14:00～16:00（13:30 開場）

場所：篠崎文化プラザ 講義室

定員：50名（当日受付、先着順）

カタリーナは、イタリアの片田舎バデュアに住む、はねっかえりのおてんば娘。彼女の妹ピアンカに恋をした男たちは、荒くれ者のベトルーキオに、カタリーナをめとらせようと試みる。いつの時代にも色あせない、元気な恋物語。

『ガス燈』（1944年、アメリカ）

6月10日（土）14:00～16:00（13:30 開場）

場所：篠崎文化プラザ 講義室

定員：50名（当日受付、先着順）

霧のロンドンの怪しげな雰囲気、次第に迫いつめられていく若妻の恐怖心をあおるサスペンス映画の傑作。イングリッド・バーグマンがアカデミー賞主演女優賞を受賞した、1944年版を上映します。

講演会

『月刊・金魚道』編集長にきく
江戸川区の金魚よもやま話』

5月20日（日）14:00～15:30（13:30 開場）

講師：大野 成実（『月刊・金魚道』編集長）

場所：篠崎文化プラザ 講義室

定員：50名（事前申込制）

5月2日14:00より受付開始

カウンターまたはお電話（3670-9102）

にて受け付けております。

そのメロディに魅せられて♪

『美しく青きドナウ～ウィーン・フィル・シュトラウス・コンサート』

C1シ05135 篠崎ほか所蔵

クラシックの世界で有名な親子といえば、シュトラウス親子が真っ先に思い浮かぶ。父のヨハン・シュトラウスを筆頭に息子たちもみな作曲家。中でも特に有名なのが“ワルツの父”と呼ばれる父シュトラウス1世と、“ワルツ王”と称される同名の息子シュトラウス2世である。彼らが作曲したワルツやポルカは今なおコンサートや舞踏会の花形で、2世の「美しく青きドナウ」と1世の「ラ

デツキー行進曲」は、新年に催されるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のニューイヤーコンサートのアンコールで必ず演奏される演目。優雅で華やかな「美しく青きドナウ」と軽快な「ラデツキー行進曲」は、ともにシュトラウス親子の代表作である。



スタッフのセクション!

篠崎図書館で働くスタッフが選んだ
おすすめ本を紹介します。

「スタンド・バイ・ミー」(『スタンド・バイ・ミー』所収)

スティーヴン・キング著 山田 順子訳 新潮文庫 B933キ 篠崎ほか所蔵

印象的な主題歌と共にヒットした同名映画の原作ですが、映画にはない素敵なフレーズやシーンがたくさん出てきます。とりわけ心に残るのが、「おのれの人生の中のよりよきものを、他人にたいせつにしてみらうのはむずかしい」という一文です。

本作は主人公ゴードンが少年時代に、3人の仲間と共に死体探しの旅をする物語です。道中の朝ひとり早く目覚めた彼は、森の中で遭遇した美しい牝鹿に深く感動しますが、そのことを誰にも話しませんでした。なぜなら「ことばがたいせつなものを縮小してしまう」からで、ましてその感動を人とわかちあうのは困難だからです。

何か深い感動を人と共有するために言葉を尽くしても伝わらず、最後には諦めたときの寂しさ。重要な感情の居場所は自分の中にしかないのだと目の当たりにした時の、もどかしく残念で少し孤独な気持ちは、感じたことのある人も多いの

ではないでしょうか。

実はこの物語は全体が大人になったゴードンの回想で、「他人にたいせつにしてみらうのは難しい」思い出として語られています。すでにその思い出を共有できる相手は誰もおらず、彼自身はそれを淋しく思っています。しかし、彼にとって新鮮な感動や感傷をともなった思い出は、心の深い部分に住み続け、時折取り出しては懐かしみ、それと共に人生を歩んでいます。たとえ誰にも理解されず誰とも分かち合えないとしても。こうした彼の思い出との折り合い方が、私にとって味方を得たように心強く、きっと読む人の共感を呼ぶように思うのです。近しい人でも担えない理解者としての役割を彼が引き受けてくれるのではないのでしょうか。この作品が、あなたの人生の中のよりよきものを、きっとたいせつにしてくれます。

編集後記

いつも母にお世話になっているので、今のうちにたくさん孝行しようと思います。(風雲ふわふ丸)／実家の家族が陶器市に行くというので急須を買ってきてもらいました。一人暮らしで使うには少し大きめでした。(もしやり)／家族の健康は大事だと思いつつ、楽をしようとご飯の作り置きにはまっています。(ちゃしこ)

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館

住所：〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19 篠崎文化プラザ内

TEL：03-3670-9102

[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ

<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>